

令和元年度  
国際的な障害者スポーツ大会に係る調査  
調査結果報告書  
(概要版)

東京都オリンピック・パラリンピック準備局



## 目次

1 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査方法	1
2 調査結果	2
① IWAS 世界大会(英名: IWAS World Games)	2
(1) 大会の概要	2
(2) 直近大会の開催概要	3
② CPISRA ワールドゲームズ(英名: CPISRA World Games)	4
(1) 大会の概要	4
(2) 直近大会の開催概要	5
③ IBSA ワールドゲームズ(英名: IBSA World Games)	6
(1) 大会の概要	6
(2) 直近大会の開催概要	7
④ INAS 世界大会(英名: INAS Global Games)	8
(1) 大会の概要	8
(2) 直近大会の開催概要	9
⑤ スペシャルオリンピックス夏季世界大会(英名: Special Olympics World Summer Games)	10
(1) 大会の概要	10
(2) 直近大会の開催概要	11
⑥ 夏季デフリンピック競技大会(英名: Summer Deaflympics)	12
(1) 大会の概要	12
(2) 直近大会の開催概要	13
⑦ アジアパラ競技大会(英名: Asian Para Games)	14
(1) 大会の概要	14
(2) 直近大会の開催概要	15
⑧ スペシャルオリンピックスアジア太平洋大会(英名: Special Olympics Asia Pacific Regional Games)	16
(1) 大会の概要	16
(2) 直近大会の開催概要	17
⑨ アジア太平洋ろう者競技大会(英名: Asia Pacific Deaf Games)	18
(1) 大会の概要	18
(2) 直近大会の開催概要	19

## 1 調査概要

### 1.1 調査目的

東京2020パラリンピック大会後、障害者スポーツに対する興味、関心が引き続き高まっていくとともに、障害者のスポーツ活動が一層盛んになるようにすることが重要である。

東京都では、障害者のスポーツ活動を盛んにし、東京都スポーツ推進総合計画(平成30年3月策定)で達成指標としている障害のある都民(18歳以上)のスポーツ実施率40%を達成するため、スポーツや身体活動をする人の裾野を広げるとともに、国際的な大会で活躍する東京ゆかりの選手を輩出できるよう取組を進めているところである。今後、障害者スポーツへの興味、関心をより一層高め、具体の活動につなげていくためには、普及啓発を更に強化するとともに、東京2020パラリンピック大会後も、パラリンピック競技大会のような国際的な障害者スポーツ大会が東京で開催され、アスリートの凄さを直接体感できる機会の創出に向けた検討を進めていくことが重要である。

そこで、国際的な障害者スポーツ大会の開催支援を検討するに当たり、基礎資料を整備するため、本調査を実施した。

### 1.2 調査方法

#### (1) 調査対象

2009年以降に開催された以下の22大会を対象として調査を実施した。

大会名	開催年・国		
	直近	2大会前	3大会前
① IWAS世界大会	2019 UAE	2017 ポルトガル	2015 ロシア
② CPISRAワールドゲームズ	2018 スペイン	2015 イギリス	
③ IBSAワールドゲームズ	2015 韓国	2011 トルコ	
④ INASグローバルゲームズ	2015 エクアドル	2011 イタリア	2009 チェコ
⑤ スペシャルオリンピックス夏季世界大会	2019 UAE	2015 アメリカ	2011 ギリシャ
⑥ 夏季デフリンピック競技大会	2017 トルコ	2013 ブルガリア	2009 台北
⑦ アジアパラ競技大会	2018 インドネシア	2014 韓国	2010 中国
⑧ スペシャルオリンピックス アジア太平洋大会	2013 オーストラリア		
⑨ アジア太平洋ろう者競技大会	2015 台湾	2012 韓国	

#### (2) 調査項目

主な調査項目は以下のとおり。

- 大会名
- 開催国・開催都市・開催期間
- 参加国数・選手数
- 競技名・競技数
- 日本選手団派遣選手数・成績

#### (3) 調査方法

インターネットや出版物等で公表されている資料等を収集しての文献調査、および、各大会の関係者に対するヒアリング調査等を実施した。

#### (4) 調査期間

2019年7月1日(月)～2019年12月27日(金)

## 2 調査結果

### ① IWAS 世界大会(英名: IWAS World Games)

#### (1) 大会の概要

##### 1 開催趣旨

VALUES: Inspire Worldwide Achievements in Sport  
(バリュー: スポーツにおいて世界的な成果をもたらす)  
VISION: Develop sporting opportunities for athletes to maximise their potential  
(ビジョン: アスリートの可能性を最大限に引き出す機会をつくっていく)  
MISSION: Inspire Worldwide Achievements in Sport  
(ミッション: スポーツにおいて世界的な成果をもたらす)  
※( )内は参考和訳

##### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

国際車いす切断者競技連盟 (International Wheelchair & Amputee Sports Federation、略称: IWAS)  
日本パラリンピック委員会 (Japanese Paralympic Committee)

##### 3 開催頻度

2年に1度

##### 4 参加対象となる選手の障害種別等

肢体不自由の障害者

(主な参加資格)

国際パラリンピック委員会(IPC)ライセンスを取得済みであること  
エントリー時に14歳になっていること

##### 5 開催都市の決定方法

入札形式、IWAS 総会で決定する。なお、入札申請時に実施競技(最低4競技以上)についても申し出る。

IWAS は、2015年に、2017年～2022年の World Games の開催地立候補の呼びかけ(Call for Bids)を行った。

これまでの開催地は以下のとおり。

開催年	開催国	開催都市	備考
2007年	台湾	台北	
2009年	インド	バンガロール	
2011年	UAE	シャルジャ	
2013年	オランダ	スタッツカナール	
2015年	ロシア	ソチ	
2017年	ポルトガル	ヴィラ・リアル・デ・サント・アントニオ	
2019年	UAE	シャルジャ	

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	第6回 IWAS 世界競技大会 (英名:2019 IWAS World Games)	第5回 IWAS 世界競技大会 (英名:2017 IWAS World Games)	第4回 IWAS 世界競技大会 (英名:2015 IWAS World Games)
開催国・開催都市	アラブ首長国連邦 シャルジャ	ポルトガル共和国 ヴィラ・レアル・デ・サント・アントニオ	ロシア連邦 ソチ
開催日程	2019年2月10日(日)～ 2月16日(土)までの7日間	2017年11月30日(木)～ 12月6日(水)までの7日間	2015年9月27日(日)～ 10月2日(金)までの6日間
参加国数・選手数	50か国 選手 528 (男子:372人、 女子:156人)	42か国	34か国、選手 598人
実施競技数・競技名	7競技 (アーチェリー、陸上競技、 バドミントン、射撃、水泳、 卓球、車いすフェンシング)	5競技 (アーチェリー、陸上競技、 パラテコンドー、水泳、卓球)	6競技 (アーチェリー、腕相撲、 陸上競技、パラテコンドー、 水泳、卓球)
日本選手団派遣選手数・成績	陸上で1人 金2(100m、200m)	不参加	金メダル:0個 銀メダル:3個 銅メダル:4個 すべて水泳
その他の特記事項	シャルジャは2011年大会に 続き2度目の開催。 もともと2017年大会の開催 地に選ばれていたが、財政 事情により2016年12月に 辞退。 選手団用の宿泊施設として シャルジャのホテルが用意さ れた。	選手団用の宿泊施設とし て、Yellow Praia Monte Gordo(4つ星ホテル)が用意 された。	2014年8月のサイト・ビジッ ト後にソチが開催地に決定 された。同年にはソチで冬 季オリンピック・パラリンピック 競技大会を開催しており、 競技会場は異なるものの国 際的な障害者スポーツ大会 の受入れ環境が整っていると 評価された。

## ② CPISRA ワールドゲームズ(英名:CPISRA World Games)

### (1) 大会の概要

#### 1 開催趣旨

脳性麻痺者のための国際総合スポーツ競技大会である。  
将来的にパラリンピックなどの競技大会で活躍するための学習・経験を得るための機会を提供することも開催目的の一つである。

#### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

国際脳性麻痺者スポーツ・レクリエーション協会 (Cerebral Palsy International Sports and Recreation Association、略称:CPISRA)

日本パラリンピック委員会 (Japanese Paralympic Committee)

#### 3 開催頻度

原則として、4年に1度

#### 4 参加対象となる選手の障害種別等

脳性麻痺

#### 5 開催都市の決定方法

これまでの開催地は以下のとおり。

開催年	開催国	開催都市	備考
1989年	イギリス	ノッティンガム	
1993年	イギリス	ノッティンガム	
1997年	イギリス	ノッティンガム	
2001年	イギリス	ノッティンガム	
2005年	アメリカ	コネチカット	
2015年	イギリス	ノッティンガム	
2018年	スペイン	サン・クガ・ダル・バリェス	

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	2018 CPISRA ワールドゲームズ (英名: CPISRA World Games 2018)	2015 CPISRA ワールドゲームズ (英名: Nottingham 2015 CPISRA World Games)
開催国・ 開催都市	スペイン王国 サン・クガ・ダル・バリェス	英国 ノッティンガム
開催日程	2018年8月7日(火)～8月16日(木)までの8日間	2015年8月6日(木)～8月16日(日)までの11日間
参加国数・ 選手数	30か国 600人	13か国 400人
実施競技数・ 競技名	6競技 (陸上競技、水泳、CP サッカー、ボッチャ、 女子 CP サッカー、車いすスラローム) CP サッカーは、CP サッカーU19 世界大会 として実施した。	6競技 (陸上競技、CP サッカー、水泳、 パラテコンドー、CP ボウル、 テーブルクリケット) CP サッカー(脳性まひ者7人制サッカー) は、CP サッカーU19 世界大会として実施した。 パラテコンドーとテーブルクリケットは公開競技(demonstration sports)として実施した。 ※ CP ボウル: ボウルと呼ばれる偏心球を、目標球のそばにどれだけ近づけられるかを競う球技。
日本選手団 派遣選手数・ 成績	女子 CP サッカーに2人が参加した。 スペイン(9名)、オランダ(2名)からの参加者と とともに、合計13名で4日間のキャンプに 参加した。	CP サッカーに10人が参加した。
その他の 特記事項	メイン会場である「High Performance Sports Centre of Catalonia (CAR)」は、1992年のバル セロナオリンピックの開催に合わせて建設 したものの。 選手団用には、競技会場との間の移動時間 が混雑時においても10分以内の立地にあ る6つのホテルが用意された。	ノッティンガム市が1億3,500万ポンドの費 用をかけて改修を行い、2015年にリニュー アルオープンした会場を利用した。 ノッティンガム地域のすべての学校を対象と して、マスコットを公募した。 選手村は Nottingham Trent University City Centre Campus 内に設けられ、家族・友人・ ボランティア村は、Nottingham Trent University Clifton Campus 内に設けられ た。



### ③ IBSA ワールドゲームズ(英名:IBSA World Games)

#### (1) 大会の概要

##### 1 開催趣旨

パラリンピックの前年に、視覚障害者の総合大会として開催される。

##### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

国際視覚障害者スポーツ連盟 (International Blind Sports Federation、略称:IBSA)

日本パラリンピック委員会 (Japanese Paralympic Committee)

##### 3 開催頻度

原則として、4年に1度

##### 4 参加対象となる選手の障害種別等

視覚障害

##### 5 開催都市の決定方法

IBSA では、2019年大会の開催に向けて、2017年3月から開催地としての立候補の申請受付を開始したが、結局、立候補地がなく、開催が見送られることとなった。

これまでの開催地は以下のとおり。

開催年	開催国	開催都市	備考
1998年	スペイン	マドリード	
2003年	カナダ	ケベック	
2007年	ブラジル	サンパウロ	
2011年	トルコ	アンタルヤ	
2015年	韓国	ソウル	

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	ソウル 2015 IBSA ワールドゲームズ (英名: Seoul 2015 IBSA World Games)	第4回 IBSA 世界大会権大会 (英名: 4th IBSA World Championships and Games Antalya 2011)
開催国・ 開催都市	大韓民国 ソウル	トルコ共和国 アンタルヤ
開催日程	2015年5月10日(日)～5月17日(日)までの8日間	2011年4月1日(金)～4月10日(日)までの8日間
参加国数・ 選手数	60か国・地域 1,000人	70か国・地域 1,200人
実施競技数・ 競技名	9競技 (陸上競技、チェス、5人制サッカー(B1、B2/B3)、ゴールボール、柔道、パワーリフティング、ショウダウン、水泳、テンピンボウリング) うち、日本選手はチェス、ショウダウン、水泳を除く6競技に参加した。 ※ ショウダウン: センターボードスクリーンとそれぞれのエンドにゴールポケットのある長方形のテーブルで行われ、ラケットと中に金属の粒が入ったボールが使われる。センターボードスクリーンの下を通して、相手のゴールにボールを入れ、またそれを阻止しようとするゲームである。視覚障害者向けのエアホッケーなどと例えられることもある。	7競技 (陸上競技、チェス、5人制サッカー(B1、B2/B3)、ゴールボール、柔道、パワーリフティング、水泳) うち、日本選手はチェス、5人制サッカー(B1)、水泳を除く競技に参加した。
日本選手団 派遣選手数・ 成績	146人 (選手:82人、ガイド:7人、 競技団体スタッフ:50人、 本部スタッフ:7人) 金メダル:1競技4個 銀メダル:3競技12個 銅メダル:4競技7個	70人 (選手:42人、ガイド・役員:28人) 獲得メダル総数は不明
その他の 特記事項	メインスタジアムである「Incheon Munhak Stadium」は、サッカーの日韓ワールドカップの会場。 選手団用の宿泊施設としてソウル市内のホテルが用意された。	

#### ④ INAS 世界大会(英名: INAS Global Games)

##### (1) 大会の概要

###### 1 開催趣旨

VISION: Athletes With An Intellectual Impairment Across The World Have The Opportunity To Achieve Excellence In Sport And High-Level Competition

(ビジョン: 知的障害のあるアスリートが、スポーツですばらしい結果を出し、ハイレベルな競技を行える)

※( )内は参考和訳

###### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

国際知的障害者スポーツ連盟 (the International Federation for Intellectual Impairment Sport、略称: INAS)

※ INAS は 2019 年 10 月のブリスベーン大会終了後、Virtus: World Intellectual Impairment Sport にブランド変更している。

一般社団法人 全日本知的障がい者スポーツ協会 (All Nippon ID Sport Association)

###### 3 開催頻度

4 年に 1 度

###### 4 参加対象となる選手の障害種別等

知的障害者(IQ75 以下)

###### 5 開催都市の決定方法

入札形式。

入札に際しては、競技施設、交通機関、アンチドーピング、宿泊施設、メディア、マーケティング、ブランディング、人員、予算等の面での計画を提出することが求められている。

あわせて、政府および開催地自治体等による支援を約束する文書を提出することが求められている。

INAS では現在、2023 年大会の開催地の選考過程にあり、日本(横浜市)も候補となっていたが、辞退した。

<2023 年大会開催地決定までのスケジュール>

2018 年 2 月 1 日 入札開始

2018 年 4 月 30 日 入札参加希望受付締め切り

2018 年 5 月 31 日 INAS(the Global Games Committee)による開催候補地決定

2019 年 1 月 31 日 入札受付締め切り

2019 年 2～3 月 INAS(the Global Games Committee)による入札内容審査

これまでの開催地は以下のとおり。

開催年	開催国	開催都市	備考
2004 年	スウェーデン	ボルネス	
2009 年	チェコ	リベレツ	
2011 年	イタリア	リグリア	
2015 年	エクアドル	キト	火山噴火により、グアヤキルで開催
2019 年	オーストラリア	ブリスベーン	

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	第4回 INAS グローバルゲームズ (英名: INAS Global Games 2015)	第3回 INAS グローバルゲームズ (英名: INAS Global Games 2011)	第2回 INAS グローバルゲームズ (英名: INAS Global Games 2009)
開催国・開催都市	エクアドル共和国 グアヤキル	イタリア共和国 リグリア	チェコ共和国 リベレツ
開催日程	2015年9月20日(日)～ 9月27日(日)までの8日間	2011年9月26日(月)～ 10月3日(月)までの8日間	2009年7月4日(土)～ 7月15日(水)までの12日間
参加国数・選手数	32カ国、選手1,000人、 コーチ・役員500人	35カ国、選手700人、 コーチ・役員500人	35カ国、選手850人、 コーチ・役員340人
実施競技数・競技名	8競技 (陸上競技、バスケットボール、自転車、フットサル、水泳、卓球、テコンドー、テニス) うち、日本選手は5競技(陸上競技、バスケットボール、フットサル、水泳、卓球)に参加した。	8競技 (陸上競技、バスケットボール、自転車、フットサル、柔道、水泳、卓球、テニス) + 公開競技:ボート(室内) うち、日本選手は4競技(陸上競技、バスケットボール、水泳、卓球)に参加した。	7競技 (陸上競技、バスケットボール、自転車、フットサル、水泳、卓球、テニス)+公開競技:柔道、ボート(室内) うち、日本選手は4競技(陸上競技、バスケットボール、水泳、卓球)に参加した。
日本選手団派遣選手数・成績	142人 (選手:94人、スタッフ:48人) 金メダル:7個 銀メダル:17個 銅メダル:18個	89人 (選手:56人、役員:33人) 金メダル:8個 銀メダル:7個 銅メダル:6個	92人 (選手:59人、役員:33人) 金メダル:1個 銀メダル:3個 銅メダル:13個
その他の特記事項	クロアチアとコロンビアを抑えて選出された。ヨーロッパ以外での初開催となった。 2015年8月にエクアドル中央部にあるコトパクス山が噴火したことから、キト周辺の競技会場を急遽変更して開催した。 開会式当日に、大会組織委員会からINASに対して、大会実施に際しての財政負担能力がない旨の通知があり、最終的には、エクアドル政府の支援も得ながら、INASが大会運営を行ったとのこと。		選手村はリベレツ工科大学の学生寮であった。

## ⑤ スペシャルオリンピックス夏季世界大会(英名: Special Olympics World Summer Games)

### (1) 大会の概要

#### 1 開催趣旨

スペシャルオリンピックス世界大会(SO)とは、知的障害のある人たちに、オリンピック種目に準じた様々な競技の継続的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場を競技会として提供。

#### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

スペシャルオリンピックス国際本部 (SOI)

スペシャルオリンピックス日本 (Special Olympics Nippon Foundation、略称:SO 日本)

#### 3 開催頻度

4年に1度

#### 4 参加対象となる選手の障害種別等

知的障害

知能指数 75 以下の 18 歳以上の男女

#### 5 開催都市の決定方法

入札方式。

入札のプロセスは以下のとおり。

- スペシャルオリンピックス国内組織を通じてスペシャルオリンピックス国際本部(SOI)に対して「入札参加希望書」を提出する。
- SOI より、入札参加希望都市に対して、入札資料集(Bid Questionnaire: 入札票、等)が提供される。
- 両者の協議を通じて、入札内容の詳細についての検討を進める。
- 入札参加希望都市より、Bid Questionnaire を提出する。
- スペシャルオリンピックス評議会による現地視察が実施され、開催計画についての審査が行われる。その後、SOI 理事会に対して最終報告書が提出される。
- SOI 理事会の投票により、開催都市が決定される。

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	第15回スペシャルオリンピックス夏季世界大会 (英名:2019 Special Olympics World Summer Games)	第14回スペシャルオリンピックス夏季世界大会 (英名:2015 Special Olympics World Summer Games)	第13回スペシャルオリンピックス夏季世界大会 (英名:2011 Special Olympics World Summer Games)
開催国・開催都市	アラブ首長国連邦 アブダビ	アメリカ合衆国 ロサンゼルス	ギリシャ共和国 アテネ
開催日程	2019年3月12日(火)～ 3月21日(木)までの10日間	2015年7月25日(土)～ 8月2日(日)までの9日間	2011年6月25日(土)～ 7月4日(月)までの10日間
参加国数・選手数	190か国・地域 10,500人 (選手:7,500人、 コーチ:3,000人)	164か国 8,814人 (選手:6,163人、 コーチ・役員:2,651人)	170か国 8,991人 (選手:6,813人、 コーチ・役員:2,178人)
実施競技数・競技名	24競技 (陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレー、SOボッチャ、ボウリング、自転車、馬術、サッカー、ゴルフ、体操競技、新体操、ハンドボール、柔道、カヤック、重量挙げ、ローラースケート、セーリング、競泳、オープンウォータースイミング、卓球、テニス、トライアスロン、バレーボール) うち、日本選手は11競技(陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボウリング、サッカー、ゴルフ、体操競技、競泳、卓球、テニス、バレーボール)に参加した。	23競技 (陸上競技、バドミントン、バスケットボール、SOボッチャ、ボウリング、自転車、馬術、サッカー、ゴルフ、体操競技、新体操、ハンドボール、柔道、カヤック、重量挙げ、ローラースケート、セーリング、ソフトボール、水泳競技(+オープンウォータースイミング)、卓球、テニス、トライアスロン、バレーボール(+ビーチバレー)) うち、日本選手は11競技(陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボウリング、サッカー、ゴルフ、体操競技、水泳競技、卓球、テニス、バレーボール)に参加した。	22競技(陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレー、SOボッチャ、ボウリング、自転車、馬術、サッカー、ゴルフ、体操競技(+新体操)、ハンドボール、柔道、カヤック、重量挙げ、ローラースケート、セーリング、ソフトボール、水泳競技、卓球、テニス、バレーボール)に参加した。 うち、日本選手は9競技(陸上競技、バドミントン、ボウリング、ゴルフ、体操競技、水泳競技、卓球、テニス、バレーボール)に参加した。
日本選手団派遣選手数・成績	104人 (選手・パートナー:73人、 コーチ:22人、その他:9人) 金メダル:7競技 16個 銀メダル:7競技 18個 銅メダル:5競技 10個	118人 (選手・パートナー:83人、 コーチ・役員:35人) 金メダル:5競技 6個 銀メダル:7競技 16個 銅メダル:6競技 16個	75人 (アスリート:52人、 コーチ・役員:23人)
その他の特記事項	オーストラリア、ドイツ、南アフリカの3か国が開催地の候補として残っていたが、いずれも辞退した。	南アフリカを抑えて選出された。	他の候補国はモロッコとアメリカ合衆国であった。

## ⑥ 夏季デフリンピック競技大会(英名: Summer Deaflympics)

### (1) 大会の概要

#### 1 開催趣旨

聴覚障害者の最高峰の大会で、パラリンピックより歴史が古い。コミュニケーションが全て国際手話によって行われ、競技は基本的にオリンピックと同じルールで運営。

#### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

国際ろう者スポーツ委員会 (International Committee of Sports for Deaf、略称:ICSD)  
全日本ろうあ連盟スポーツ委員会 (Japanese Federation of the Deaf Sports Committee)

#### 3 開催頻度

4年に1度

#### 4 参加対象となる選手の障害種別等

聴覚障害。補聴器をはずした裸耳状態での聴力損失が 55 デシベルを超えている者で、各国のろうスポーツ協会に登録している者

#### 5 開催都市の決定方法

これまでの開催地は以下のとおり。

開催年	開催国	開催都市	備考
1924年	フランス	パリ	
1928年	オランダ	アムステルダム	
1931年	ドイツ	ニュルンベルク	
1935年	イギリス	ロンドン	
1939年	スウェーデン	ストックホルム	
1949年	デンマーク	コペンハーゲン	
1953年	ベルギー	ブリュッセル	
1957年	イタリア	ミラノ	
1961年	フィンランド	ヘルシンキ	
1965年	アメリカ	ワシントン	
1969年	ユーゴスラビア	ベオグラード	
1973年	スウェーデン	マルメ	
1977年	ルーマニ	ブカレスト	
1981年	西ドイツ	ケルン	
1985年	アメリカ	ロサンゼルス	
1989年	ニュージーランド	クライストチャーチ	
1993年	ブルガリア	ソフィア	
1997年	デンマーク	コペンハーゲン	
2001年	イタリア	ローマ	
2005年	オーストラリア	メルボルン	
2009年	台湾	台北	
2013年	ブルガリア	ソフィア	
2017年	トルコ	サムスン	

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	第23回夏季デフリンピック 競技大会 (英名:23rd Summer Deaflympics)	第22回夏季デフリンピック 競技大会 (英名:22nd Summer Deaflympics)	第21回夏季デフリンピック 競技大会 (英名:21st Summer Deaflympics)
開催国・ 開催都市	トルコ共和国 サムスン	ブルガリア共和国 ソフィア	台湾 台北
開催日程	2017年7月18日(火)～ 7月30日(日)までの13日 間	2013年7月26日(金)～ 8月4日(日)までの10日 間	2009年9月5日(土)～ 9月15日(火)までの11日 間
参加国数・ 選手数	86か国、選手2,859人 (男子:1,913人、 女子:960人)	83か国、選手2,711人 (男子:1,792人、 女子:919人)	77か国、選手2,493人 (男子:1,714人、 女子:779人)
実施競技数・ 競技名	21競技 (陸上競技、バドミントン、バ スケットボール、ビーチバレ ー、ボウリング、サイクリン グ、サッカー、ゴルフ、ハンド ボール、柔道、空手、マウン テンバイク、オリエンテーリン グ、射撃、水泳、卓球、テコ ンドー、テニス、バレーボ ール、レスリング:グレコロー マン、レスリング:フリースタ イル) うち、日本選手は11競技 (陸上競技、バドミントン、ビ ーチバレー、サイクリング、 サッカー、空手、マウンテン バイク、水泳、卓球、テニ ス、バレーボール)に参加し た。	18競技 (陸上競技、バドミントン、バ スケットボール、ビーチバレ ー、ボウリング、自転車、サッ カー、ハンドボール、柔道、 空手、オリエンテーリング、 射撃、水泳、卓球、テコンド ー、テニス、バレーボール、 レスリング) うち、日本選手は12競技 (陸上競技、バドミントン、バ スケットボール、ビーチバレ ー、自転車、サッカー、柔 道、オリエンテーリング、水 泳、卓球、テニス、バレーボ ール)に参加した。	19競技 (陸上競技、バドミントン、バ スケットボール、ビーチバレ ー、ボウリング、自転車、サッ カー、ハンドボール、柔道、 空手、オリエンテーリング、 射撃、水泳、卓球、テコンド ー、テニス、バレーボール、 水球、レスリング) うち、日本選手は12競技 (陸上競技、バドミントン、バ スケットボール、ビーチバレ ー、ボウリング、サッカー、柔 道、空手、水泳、卓球、テニ ス、バレーボール)に参加し た。
日本選手団 派遣選手数・ 成績	177人 (選手:108人、役員:69人) 金メダル:3競技6個 銀メダル:2競技9個 銅メダル:6競技12個	219人 (選手:149人、役員:70人) 金メダル:2競技2個 銀メダル:5競技10個 銅メダル:5競技9個	244人 (選手:154人、役員:90人) 金メダル:4競技5個 銀メダル:4競技6個 銅メダル:6競技9個
その他の 特記事項	メイン会場である「İlkadım Athletics Fields」は、当大会 のためおよそ850万USド ルをかけて建設したもの。 大会開催前にテロ事件が発 生したこともあり、保安上の 理由から、選手村 (Deaflympics Village)を3か 所開設した。	当初、ギリシャのアテネで開 催予定だったが、経済危機 により辞退したため、ICSD からの要請を受けて、ソフィ アで開催することとなった。	ギリシャのアテネを抑えて選 出された。 台北スタジアムは、デフリン ピック開催のため建て替えら れた競技場。台北アリーナ (体育館)、松山スポーツセン ターと合わせた「台北体育 園区」(Taipei City Sports Park)の整備のため、台北市 は24億台湾ドルを投じた。



## ⑦ アジアパラ競技大会(英名: Asian Para Games)

### (1) 大会の概要

#### 1 開催趣旨

1975年より9回にわたり開催してきたフェスピック競技大会の実績を引き継ぐとともに、アジア地域におけるパラリンピック・ムーブメントの推進と競技スポーツのさらなる進展を図るために開催するアジア地域の障がい者総合スポーツ大会。

4年に一度、国際パラリンピック委員会(IPC)の地域委員会であるAPCが主催する。

正式競技は規定されていないが、基本的な考え方としては、パラリンピック正式競技のうちアジア地域で一定の参加数が見込める競技と、フェスピック大会実施競技としての実績のある競技の中から決定される。

#### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

アジアパラリンピック委員会 (Asian Paralympic Committee、略称: APC)

日本パラリンピック委員会 (Japanese Paralympic Committee)

#### 3 開催頻度

4年に1度

#### 4 参加対象となる選手の障害種別等

身体障害、視覚障害、知的障害

#### 5 開催都市の決定方法

アジア競技大会と同じ開催地で開催される。

また、競技会場は、原則として先立って開催されたアジア競技大会で使用された会場が使用される。

これまでの開催地および開催予定は以下のとおり。

開催年	開催国	開催都市	備考
2010年	中国	広州	
2014年	韓国	仁川	
2018年	インドネシア	ジャカルタ	
2022年 予定	中国	杭州	
2026年 予定	日本	名古屋	

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	インドネシア 2018 アジアパラ競技大会 (英名: Indonesia 2018 Asian Para Games)	インチョン 2014 アジアパラ競技大会 (英名: Incheon Asian Para Games)	広州 2010 アジアパラ競技大会 (英名: Guangzhou 2010 Asian Para Games)
開催国・開催都市	インドネシア共和国 ジャカルタ	大韓民国 インチョン	中華人民共和国 広州
開催日程	2018年10月6日(土)～10月13日(土)までの8日間	2014年10月18日(土)～10月24日(金)までの7日間	2010年12月12日(日)～12月19日(日)までの8日間
参加国数・選手数	43 各国・地域 2,768 人	41 各国・地域 2,497 人	41 各国・地域 3,798 人 (選手 2,512 人、 役員 1,286 人)
実施競技数・競技名	18 競技 (アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャ、自転車、ゴールボール、柔道、パワーリフティング、水泳、テンピンボウリング、卓球、シッティングバレーボール、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、車いすテニス、ローンボウルズ、射撃、チェス) うち、日本選手はチェスを除く17競技に参加した。	23 競技 (アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャ、自転車、5人制サッカー、7人制サッカー、ゴールボール、柔道、ローンボウルズ、パワーリフティング、ローイング、セーリング、射撃、シッティングバレーボール、水泳、卓球、車いすバスケットボール、車いすダンス、車いすフェンシング、車いすラグビー、車いすテニス、テンピンボウリング) うち、日本選手はテンピンボウリングを除く22競技に参加した。	19 競技 (アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャ、自転車、5人制サッカー、7人制サッカー、ゴールボール、柔道、パワーリフティング、ローイング、射撃、シッティングバレーボール、水泳、卓球、テンピンボウリング、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、車いすテニス)
日本選手団派遣選手数・成績	484 人 (選手:304 人、競技パートナー:12 人、競技役員:147 人、本部役員:21 人) 金メダル:6 競技 45 個 銀メダル:11 競技 70 個 銅メダル:12 競技 83 個	476 人 (選手:285 人、競技アシスタント:17 人、競技役員:147 人、本部役員:27 人) 金メダル:6 競技 38 個 銀メダル:12 競技 49 個 銅メダル:13 競技 56 個	359 人 (選手 223 人、役員 136 人-うち、本部役員:23 人) 金メダル:8 競技 32 個 銀メダル:9 競技 39 個 銅メダル:6 競技 32 個
その他の特記事項	メイン会場である「GBK Main Stadium」は、1962 年アジア競技大会開催のために作られ、その後、改修し、2018 年リニューアルオープンした。		

## ⑧ スペシャルオリンピックスアジア太平洋大会(英名: Special Olympics Asia Pacific Regional Games)

### (1) 大会の概要

#### 1 開催趣旨

スペシャルオリンピックス(SO)の、アジア太平洋地域でのリージョナル大会である。  
スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的障害のある人たちに、オリンピック種目に準じた様々な競技の継続的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供し、知的障害のある人の社会参加を応援する国際的な活動。

#### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

スペシャルオリンピックス・アジアパシフィック (Special Olympics Asia Pacific)  
スペシャルオリンピックス日本 (Special Olympics Nippon Foundation、略称: SON)

#### 3 開催頻度

不明

#### 4 参加対象となる選手の障害種別等

知的障害

#### 5 開催都市の決定方法

これまでの開催地は以下のとおり。

開催年	開催国	開催都市	備考
2013年	オーストラリア	ニューカッスル	

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	2013年スペシャルオリンピックス アジア太平洋大会 (英名: Special Olympics Asia Pacific (SOAP) Regional Games-Newcastle 2013)
開催国・ 開催都市	オーストラリア連邦 ニューカッスル
開催日程	2013年12月1日(日)～12月7日(土)までの7日間 (11月28日～30日までホストシティ・プログラム開催)
参加国数・ 選手数	29か国・地域 2,500人
実施競技数・ 競技名	9競技(水泳競技、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボッチャ、ボウリング、サッカー、卓球、クリケット) うち、日本選手団はバスケットボールとサッカーに参加した。
日本選手団派 遣選手数・成 績	45人(選手:30人、団長・コーチ・スタッフ:15人) バスケットボールでは、4チーム参加のディビジョン1で4位、5チーム参加のディビジョン2で2位と5位。サッカーは4チーム参加のディビジョン1で4位
その他の 特記事項	オーストラリア政府が100万豪ドルを補助した。 スペシャルオリンピックス・オーストラリア(SOA、主催者ではない)における大会関連経費は、収入:2,704,485豪ドル、支出:4,210,420豪ドルであった。

## ⑨ アジア太平洋ろう者競技大会(英名:Asia Pacific Deaf Games)

### (1) 大会の概要

#### 1 開催趣旨

アジア太平洋ろう者スポーツ大会の目的は以下のとおりである。

- ・世界中に国際ろうスポーツ委員会(ICSD)の原則を普及し、ろうコミュニティの国際親善を促進
- ・ろうスポーツ選手の身体的・精神的幸福のため
- ・ろう者がエリート・スポーツに参加する機会を提供
- ・4年に一度のスポーツ競技において、世界中のろうスポーツ選手が集結

#### 2 主催者等(主催国際団体、日本国内派遣元団体)

アジア太平洋ろう者スポーツ連合 (Asia Pacific Deaf Sports Confederation)

全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会 (Japanese Federation of the Deaf Sports Committee)

#### 3 開催頻度

4年に1度

#### 4 参加対象となる選手の障害種別等

聴覚障害

#### 5 開催都市の決定方法

「アジア太平洋ろう者スポーツ大会規定」において、加盟団体であるろうスポーツ協会が「アジア太平洋ろう者スポーツ大会」の開催国として立候補する場合には、実際の開催日から遅くとも4年前までに、提案する大会開催都市名および大会開催日程を記した立候補申請書を提出することとされている模様。

これまでの開催地は以下のとおり。

開催年	開催国	開催都市	備考
1984年	香港	香港	
1986年	日本	京都	
1988年	オーストラリア	メルボルン	
1992年	韓国	ソウル	
1996年	マレーシア	クアラルンプール	
2000年	台湾	台北	
2012年	韓国	ソウル	
2015年	台湾	桃園	
2019年	香港	香港	中止

## (2) 直近大会の開催概要

大会名	第 8 回アジア太平洋ろう者競技大会 (英名: Asia Pacific Deaf Games Taoyuan 2015)	第 7 回アジア太平洋ろう者競技大会 (英名: Asia Pacific Deaf Games Seoul 2012)
開催国・ 開催都市	台湾 桃園	大韓民国 ソウル
開催日程	2015 年 10 月 3 日(土)～ 10 月 11 日(日)までの 9 日間	2012 年 5 月 26 日(土)～6 月 2 日(土)までの 8 日間
参加国数・ 選手数	22 か国・地域 1,171 人 (2015 年 10 月 3 日時点)	25 か国・地域 1,246 人
実施競技数・ 競技名	12 競技 (陸上競技、バスケットボール、バドミントン、 ボウリング、自転車、サッカー、フットサル、 柔道、卓球、テコンドー、テニス、水泳) うち、日本選手はテコンドーを除く 11 競技 に参加した。	14 競技 (陸上競技、バドミントン、野球、バスケットボ ール、ボウリング、自転車、サッカー、フット サル、柔道、水泳、テコンドー、卓球、テニ ス、バレーボール) うち、日本選手は陸上、テコンドーを除く 12 競技に参加した。
日本選手団派 遣選手数・成 績	192 人 (選手:125 人、競技スタッフ:52 人、 本部スタッフ:15 人) 金メダル:5 競技 21 個 銀メダル:8 競技 26 個 銅メダル:7 競技 22 個	196 人 (選手:123 人、競技スタッフ:59 人、 本部スタッフ:14 人) 金メダル:7 競技 28 個 銀メダル:5 競技 25 個 銅メダル:6 競技 17 個